

国保税率は据え置き 繁殖用緬羊77頭を導入

行政報告

◇春の叙勲「瑞宝単光章」

本町から元町消防団分団長の淡路弘氏が消防功勞として「瑞宝単光章」を受章されました。淡路氏は、昭和31年9月に入団後、昭和60年1月から副分団長、平成元年9月からは分団長を歴任され、平成6年3月末までの38年間の地域消防と予防活動に尽力されました。

受章に対し、改めて心から敬意とお祝いを申し上げます。



6月定例議会が6月19日から24日までの4日間にわたり開催され、株式会社藤里開発公社の経営体制や、一般会計補正予算など上程された12案件について原案どおり可決されました。

◇第23回全国みどりの愛護のつどい

6月2日、皇太子殿下をお迎えし、秋田市雄和の県立中央公園において開催されました。

「みどりの日」制定の趣旨を踏まえ、花と緑の愛護、緑化推進の活動などに顕著な功績があった団体として、本町から、長瀬地区農地環境保全会、粕毛第一共栄クラブ、米田地区活動推進協議会の3団体が秋田県知事表彰を受けております。

◇暴力団排除に関する合意書の調印について

本年3月、藤里町暴力団排除条例を制定し、4月から施行しているところですが、今後、警察当局との連携により、暴力の排除に努め、町民の一層の安心と安全を確保するため、6月12日、「町と能代警察署との暴力団排除に関する合意書」の調印を行いました。

◇土砂災害防災訓練

6月3日は、全国統一の土砂災害防災訓練の指定日となっており、今年度は、能代山本地区の開催場所として、本町の土砂災害特別警戒区域である館の沢川流域の鳥谷場・愛宕・大町地区が指定され、町民28人の参加のもと秋田県や消防などの各関係機関が連携し、情報伝達から避難勧告の発令、町民の避難、応急体制などの訓練を実施しました。このほか、防災講座を行うなど、参加された町民のみならず、皆さんの防災に対する意識も高めることができ、今後さらに防災意識の高揚を図って参りたいと考えています。

◇国民健康保険税の税率

今年度の医療給付費について1%程度（前年度2%）の伸びが見込まれる一方で、一般被保険者の課税標準額となる総所得金額は農業者に対する個別所得補償交付金もあり前年度より14.3%の増加となる見通しとなっています。これにより、現行税率で保険税を試算すると、当初予算に見込んでいる総額を確保できる見込みであることから今年度については、税率を据え置くことにしています。

◇農林業関係について

今年の稲作については、豪雪の影響により、田植えは平年より1週間ほど遅くなりました。

4月上旬の暴風等により、育苗への影響が心配されましたが、中旬からは気温が高く、日照時間も平年並みとなったことから大きな影響はありませんでした。5月上旬は、本田作業の遅れも見られましたが、田植えが始まってからは、作業も順調に進んでおり、今後は適切な水管理により莖数の確保が図られるよう、稲作情報を提供していきます。

今年の生産数量配分枠については、米の単収の引下げと配分較差の是正により、前年と比べ生産数量目標では、8t、作付面積では、59a減少し、473.01haの配分面積となり、昨年と同様に水田を耕作している全農家を対象に、同率の62.7%で配分を行いました。

価格が生産費を下回っている作物を対象に、その差額が交付される農業者個別所得補償交付金については、町、JAなどにより構成される農業再生協議会が交付申請を受け付け、取りまとめを行うこととしています。円滑な受付及び確認業務により、交付金の早期支払いにつなげていきます。